

三重県立子ども心身発達医療センター
令和7年度「ここ・から」研修会

災害時、子どもの育ちを支えるために何ができるか

東日本大震災や能登半島地震など、近年地震や洪水などの災害が頻発しています。三重県においても南海トラフ巨大地震をはじめとして、いつ何時大災害が起こってもおかしくない状況です。災害が発生し環境が変化する場合に備え、今回の研修会では、子どもの育ちを支えるために準備しておくことや心構えなどについて考える機会とします。

午前の部 10:10～

【講演】（リモート出演）

演題 「能登半島地震から学んだこと～医療的ケア児支援を中心に～」

講師 丸箸 圭子（国立病院機構医王病院小児科（副院長））

【シンポジウム】 テーマ 「もしもに備える～災害時の肢体不自由児支援の実践と課題～」

〈シンポジスト〉 多田 智美（鈴鹿医療科学大学保健衛生学部リハビリテーション学科
理学療法学専攻 助教）

稲垣 和幸（名張市なばりの未来創造部危機管理室 係長）

長井 健治（三重県防災対策部地域防災推進課 課長）

〈助言者〉 丸箸 圭子

〈座長〉 西村 淑子（三重県立子ども心身発達医療センター 医療部長）

午後の部 13:30～

【講演】

演題 「災害時にも子どもの育ちを支える～その時、何が求められ、何ができるのか～」

講師 林 みづ穂（仙台市健康福祉局障害福祉部参事 兼 精神保健福祉総合センター所長）

【シンポジウム】 テーマ 「災害時のこころのケアを考える」

〈シンポジスト〉 大須賀由美子（三重県教育委員会学校防災アドバイザー・多気町防災ネット
ワークグループ）

勝又 亜里砂（三重県自閉症協会 会長）

〈助言者〉 林 みづ穂

〈座長〉 中西 大介（三重県立子ども心身発達医療センター長）

日時

2025年7月29日（火）10:00～16:30

会場

三重県総合文化センター 文化会館 中ホール
（三重県津市一身田上津部田1234）

主催

三重県立子ども心身発達医療センター

協力

三重県立かがやき特別支援学校

問い合
わせ先

三重県立子ども心身発達医療センター 医療連携課

TEL 059-253-2000 FAX 059-253-2029 MAIL hattatsuc@pref.mie.lg.jp

URL <https://www.pref.mie.lg.jp/CHILDC/>



三重県立子ども心身発達医療センター

「ここ・から」研修会 への 申込みについて

○ テーマ

[災害時、子どもの育ちを
支えるために何ができるか]

○ 参加申込み

下記アドレスの申込みフォーム、
または右の二次元コードから
お申込みください。



《スマートフォン》

『<https://logoform.jp/form/8vMX/1035291>』

申込み期限 2025年7月22日(火) まで

※ 手話通訳、要約筆記が必要な方は **7月9日(水)** までにお申込みください

日 程: 2025年7月29日(火)

時 間: 10:00開会(9:40受付開始)
16:30閉会予定

場 所: 三重県総合文化センター文化会館
中ホール
(三重県津市一身田上津部田1234)

参加費: 無料

定 員: 先着500人



※ 都合により開催が中止等になった場合でも当センターから連絡は致しません。
情報は当センターホームページに掲載しますのでご確認ください。

「ここ・から」研修会
名称の由来

「ここ(ろ)」と「から(だ)」、そしてこの研修会をきっかけに新たなスタートを、
という気持ちを込めて「ここ・から」研修会としています。